

12月のブルーベリー農園その1（東広島市豊栄町）

今月は色々な障害児者の地域の行事
があって農作業はまだ2日間しかで

きていない。14日も15日も行事が続くので、仕方なし。それでもブルーベリ
ーは紅葉、落葉と姿を変えながら冬に備える。



12月1日（日）。ブルーベリー畑を眺める位置に小さい
畑があり富有柿やジャーマンアイリスが植えてある。そ
の一角はいつも野菜を植えて気分を紛らせる場所。耕し
てちょっと遅いがソラマメの種をまく。



ブルーベリー畑の中に1本あるムラサキシキブ。12月
に入ると色合いが薄くなるが表面が銀色を薄く帯びたよ
うに見える。（12月1日）



夏中手入れできなかつた畑の溝を掘って補修。冬の水た

まりはブルーベリーの根がダメになってしまうので少し
でも水はけをよくしないとイケない。12月8日（日）



3段ある畑の晩生のブルーベリー（ラビットアイ系）の
紅葉の様子（12月8日）

① 上から眺める



② 下から眺める。



12月8日（日）

里山の一部に植えてある早生のブルーベリー（北部ハイブッシュ系）は落葉した。剪定の季節に入ったがしばらくは時間が取れない。



里山の黄色の紅葉 12月8日（日）

① サンショウ



12月8日（日）

②カエデ

それぞれ木は小さいがこの姿で初冬を十分感じさせてくれる。

2019年12月15日
社会福祉法人安芸の郷 理事長 遊川和良